

寺田繁一氏文書(1)概要

- 1: 文書群番号 074016-1
- 2: 文書群名 寺田繁一氏文書(1)
- 3: 出所 寺田繁一家
- 4: 家業・役職等 善法寺村庄屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡善法寺村／兵庫県川辺郡善法寺村／川辺郡小田村善法寺／
尼崎市善法寺／尼崎市善法寺町ほか
- 6: 行政区分 ①幕府領・大坂城代領・京都所司代領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役
場／小田村／尼崎市②旗本平野氏(長重系)知行所／兵庫県第11区／下坂
部組戸長役場／小田村／尼崎市
- 7: 歴史 善法寺村は、市域北東部、藻川沿いに位置する。村高は近世を通じて
224石余、村の大部(184石余)は幕府領・大坂城代領・京都所司代領な
ど、近世を通じて領主がめまぐるしく交替した。宝暦2年(1752)幕府領
分の宗門改帳では家数28軒・122人。小部(40石)は天正年間(1573～
1592)から旗本平野氏(長重系)知行所で、幕末期の家数は1軒。水利は西
明寺井組に属した。氏神は白井神社、寺院は浄土真宗本願寺派円融寺。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に寺田勝彦氏が
史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 寺田勝彦氏
- 10: 点数 807点(目録件数391件)
- 11: 年代 慶安3年(1650)～昭和13年(1938)
- 12: 構造と内容 本文書群は①善法寺村方・村政関係、②金融、③西明寺井堰等水利関
係の史料、④寺田家の私的文書からなる。
①について、近世の史料としては、領主からの触書、名寄帳等土地台
帳、年貢免状、皆済目録、宗門改帳、人別送状、村入用支配銀割賦帳な
どがある。近代以降については、地租改正関係、村費・学校警察関係
費・協議費等の徴収簿などがある。
②は、田畑売買・質入証文、借入金証文、頼母子関係史料など。③は
近世史料は争論関係史料が多く、近代は井堰維持に関する帳簿類が多
い。
④は、婚姻・仏事に関する史料のほか、家屋敷の普請関係史料、買物
帳(通い帳)などがある。
同氏文書(2)と本来一体。
- 13: 関連史料 寺田繁一氏文書(2)、太田善夫氏文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央